

放射性同位元素装備診療機器設置届

年 月 日

熊本市保健所長(宛)

届出人(管理者)

放射性同位元素装備診療機器を設置したいので、医療法第 15 条第 3 項に基づく医療法施行規則第 27 条の 2 の規定により次のとおり届出をします。

(フ リ ガ ナ)							
名 称							
開 設 の 場 所		〒 校区					
		TEL			FAX		
装置の概要	製作者名	型式	台数	放射性同位元素		用途	予定使用開始時期
				種類	数量		
					Bq		
診療用放射線照射装置を使用する医師、歯科医師又は診療放射線技師の氏名及び経歴	氏名		職種		放射線診療に関する経歴		
<p>*放射線を人体に照射する装置を使用する場合 添付書類</p> <ol style="list-style-type: none"> 放射性同位元素装備診療機器の位置及び照射方向並びに天井、床、周囲の画壁防護物の材料及び厚さを記入した使用室図面 隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した使用室の平面図及び側面図 放射性同位元素装備診療機器使用室などにおける遮蔽能力を示す図面及び計算書 							
所 長	課 長	副課長	主 幹	主 査	班 員		起案
受 付 印			決 裁 印				
							年 月 日 本届出書を受理したので 供覧します。

1. 放射性同位元素装備診療機器の概要

製 作 者 名	
型 式	
装備する放射性同位元素の種類	
装備する放射性同位元素の数量	
用 途	1. 骨塩定量分析装置 2. 輸血用血液照射装置 3. ガスクロマトグラフ用エレクトロン・キャプチャ・ディテクタ 4. その他 ()

2. 放射線障害防止に関する構造設備等の概要

使 用 室	室 名			
	建 築 物 の 構 造		1.耐火構造 2.不燃材料 3.その他 ()	
	遮蔽物		構 造 材 料 厚 さ (m m)	
	箇所			
	防 護 物 の 概 要	天 井		
		周 囲 の 壁	(東)	
			(西)	
			(南)	
			(北)	
	監視用窓			
出入り口のかぎ・器具などの閉鎖設備		有 ・ 無		
使用室の標識		有 ・ 無		
管 理 区 域	骨塩定量分析装置	間仕切り	有 ・ 無	
	輸血用血液照射装置	画 壁	有 ・ 無	
	ガスクロマトグラフ用エレクトロン・キャプチャ・ディテクタ	標 識	有 ・ 無	
	注 意 事 項 の 表 示	従事者用	有 ・ 無	
		患者用	有 ・ 無	
	出入り口使用中の表示		有 ・ 無	
線源容器の周囲などにおける1cm線量当量が300 μ Sv/3月以下となる措置		有 ・ 無		
そ の 他	(*)敷地内居住区域及び境界の1cm線量当量が250マイクロSv/3月以下となる措置		有 ・ 無	
	入院患者(診療により被ばくする放射線を除く)の被ばく放射線の1cm線量当量が1.3mSv/3月以下となる措置	有	無	
		内容	理由	
	被ばく防止のための器具		1.防護衣 2.その他 ()	
取扱者の被ばく線量測定器具		1.ガラスバッチ等 2.その他 ()		

備考

放射性同位元素装備診療機器の概要については、機器ごとに作成すること。